【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【公開番号】特開2007-233053(P2007-233053A)
【公開日】平成19年9月13日(2007.9.13)
【年通号数】公開・登録公報2007-035
【出願番号】特願2006-54807(P2006-54807)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　9/10　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　9/08　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　9/26　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　9/10　D
Ｇ０３Ｂ　9/08　D
Ｇ０３Ｂ　9/26
Ｇ０３Ｂ　9/10　A

【手続補正書】
【提出日】平成21年2月24日(2009.2.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
入射光を制御する複数の遮光羽根と、前記入射光を通過させる開口部を有し、前記遮光羽根を片面側に回動可能に配置した地板と、永久磁石からなるロータマグネットとステータヨークと駆動コイルからなり、前記地板に取り付けられて前記遮光羽根を回動させる駆動源と、前記ロータマグネットの偏心軸を介して前記遮光羽根を所定の軌跡に沿って移動させる羽根駆動手段と、を有し、
前記羽根駆動手段は、前記少なくとも一枚の遮光羽根を前記ロータマグネットの偏心軸を支点として回転自在に支持し、該ロータマグネットと一体に回転するに従って当該遮光羽根の係合部と前記地板の片面側に設けた規制部材との係合により当該遮光羽根に所定方向の旋回を付与する遮光羽根旋回機構を有し、前記規制部材は、前記地板の片面側平面内において前記駆動源とオーバーラップしない位置に配置されていることを特徴とする光量調節装置。
【請求項２】
前記遮光羽根旋回機構を備えた遮光羽根には、前記規制部材との係合により旋回方向を規制する直線状の長溝あるいは屈曲した長溝の前記係合部を備えていることを特徴とする請求項１に記載の光量調節装置。
【請求項３】
前記遮光羽根旋回機構を備えた遮光羽根の全開位置を前記駆動コイルと前記開口部との間となるように配置したことを特徴とする請求項１または２に記載の光量調節装置。
【請求項４】
前記規制部材は、前記駆動源とオーバーラップしない位置に配置された支軸であることを特徴とする請求項１から３のいずれかに記載の光量調節装置。
【請求項５】
前記駆動コイルを前記遮光羽根と同レベル位置に配置したことを特徴とする請求項１から

４のいずれかに記載の光量調節装置。
【請求項６】
前記地板の片面側には、前記ロータマグネットを回転自在に軸支する支軸の他に、前記遮光羽根旋回機構によらずに開閉駆動される遮光羽根を回転自在に軸支する支軸を該地板に取り付けられた駆動源と重ならない位置に設けたことを特徴とする請求項１から５のいずれかに記載の光量調節装置。
【請求項７】
請求項１から６のいずれかに記載の光量調節装置と、前記光量調節装置を通った被写体光が結像する撮像手段と、を有することを特徴とする光学撮像機器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明の目的を実現する光量調節装置の第１の構成は、請求項１に記載のように、入射光を制御する複数の遮光羽根と、前記入射光を通過させる開口部を有し、前記遮光羽根を片面側に回動可能に配置した地板と、永久磁石からなるロータマグネットとステータヨークと駆動コイルからなり、前記地板に取り付けられて前記遮光羽根を回動させる駆動源と、前記ロータマグネットの偏心軸を介して前記遮光羽根を所定の軌跡に沿って移動させる羽根駆動手段と、を有し、前記羽根駆動手段は、前記少なくとも一枚の遮光羽根を前記ロータマグネットの偏心軸を支点として回転自在に支持し、該ロータマグネットと一体に回転するに従って当該遮光羽根の係合部と前記地板の片面側に設けた規制部材との係合により当該遮光羽根に所定方向の旋回を付与する遮光羽根旋回機構を有し、前記規制部材は、前記地板の片面側平面内において前記駆動源とオーバーラップしない位置に配置されていることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
本発明の目的を実現する光量調節装置の第２の構成は、請求項２に記載のように、上記した第１の構成において、前記遮光羽根旋回機構を備えた遮光羽根には、前記規制部材との係合により旋回方向を規制する直線状の長溝あるいは屈曲した長溝の前記係合部を備えていることを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
本発明の目的を実現する光量調節装置の第３の構成は、請求項３に記載のように、上記したいずれかの構成において、前記遮光羽根旋回機構を備えた遮光羽根の全開位置を前記駆動コイルと前記開口部との間となるように配置したことを特徴とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００１２】
本発明の目的を実現する光量調節装置の第４の構成は、請求項４に記載のように、上記したいずれかの構成において、前記規制部材は、前記駆動源とオーバーラップしない位置に配置された支軸であることを特徴とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
本発明の目的を実現する光量調節装置の第５の構成は、請求項５に記載のように、上記いずれかの構成において、前記駆動コイルを前記遮光羽根と同レベル位置に配置したことを特徴とする。